

◆アンケートやヒアリングから得られた環境学習実施の課題や、今後の展望について

学校のニーズを知りたい。

社外の方との繋がりを広げていきたい！

・校外学習の事後の振り返りができるツール等があると、学校の先生方や保護者の方に活用していただけるよ！

環境学習を担える人材が不足している・・・

環境学習を通して、企業の認知度も上げていきたい！

・廃材を使用した遊びをしている園が多いので、企業の製品や素材で子どもたちにどのように使ってもらえるか園の先生と考えるワークショップがあると良いね！




- ◎サポート体制やしくみの充実
 - ・専門家や経験者がサポートする体制やしきづくりが求められます。
- ◎繋がる場の創出
 - ・多様な主体が繋がり、情報交換や連携による取組へ発展するきっかけとなる場を創出することが求められます。
- ◎情報の発信・共有
 - ・尼崎臨海地域で実施されている多様な分野の取組に関する情報を取りまとめ、発信・共有することが求められます。

◆まとめ

アンケートやヒアリングから、尼崎 21 世紀の森構想の環境学習プロジェクトへの参画には、以下の方法案が考えられます。


(仮称) 企業版森の会議

企業や尼崎市内の園や学校の先生などが一堂に会し、情報共有や意見交換をする場への参加。




イベント参加

尼崎 21 世紀の森構想の取組みを広く周知するイベントやフォーラムでのブース出展。




施設見学

工場や活動フィールドを見学して、見て学べる機会を提供いただく。



資材・廃材等の提供

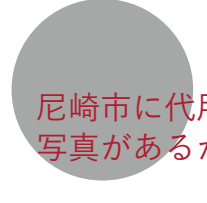
資材や廃材等を提供いただき、プレーパーク（子どもたちが自由な発想で遊び、作りあげていく遊び場）などで活用する。



環境に関する取組についての情報提供

各企業で行っている環境に関する取組についての情報を提供いただく。

いただいた情報は、尼崎 21 世紀森構想エリア内で行われている環境の取組について、子どもたちが遊びながら学べるツールづくりの中で使用する。



関連企業への周知

関連企業に環境学習関連イベント等の情報周知をしていただくことで、環境学習の協力企業としてプロジェクトに参画いただく。

尼崎市に代用できる写真があるかを確認

尼崎 21 世紀の森構想エリアにおける環境学習のプロジェクト

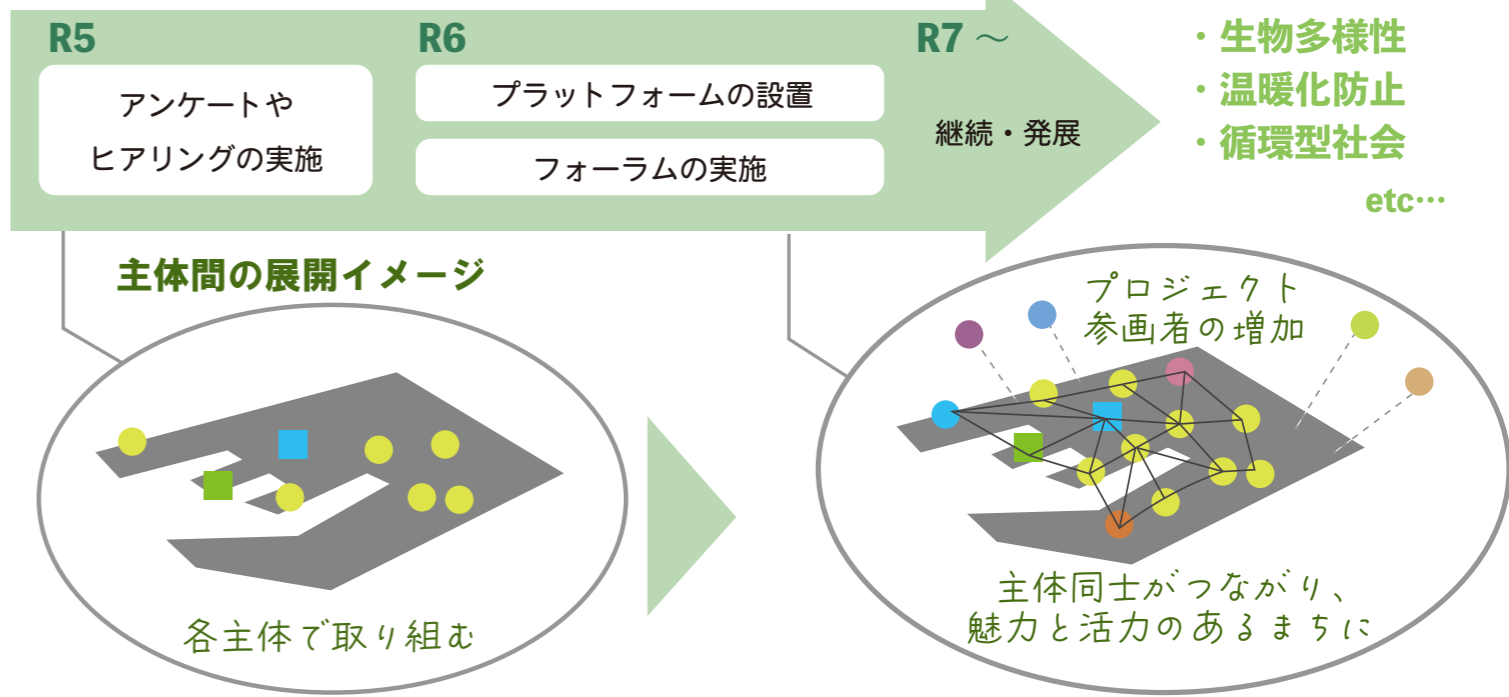
環境学習を通じた尼崎臨海地域の魅力と活力あるまちの再生に向けて

尼崎臨海地域で活動する企業や団体の方々や、行政、学校などの多様な主体が連携し、地域の特徴を活かした環境学習を展開することで、学習を通して尼崎臨海地域の魅力を発信し、環境と産業が共生するまちづくりを目指します。

そこで令和 5 年度は、尼崎 21 世紀の森構想エリアの環境学習の現状を調査しました。様々な方にプロジェクトに関わっていただくため、行政や団体、企業にアンケートなどを行い、特に企業を対象にヒアリングを行いました。そこで、把握できた環境学習の可能性についてまとめました。

◆プロジェクトの進め方

令和 5 年度は、環境学習に携わる行政や市民団体、企業等にアンケートやヒアリングを行い、環境学習の現状を把握しました。令和 6 年度からは、現状把握から得られた課題をふまえて、企業や市民団体等の様々な主体が、情報交換を行い連携を深める契機となる場を提供します。主体間の連携を図り、環境学習を通して、尼崎臨海地域の魅力と活力のあるまちを目指します。



ニ崎 21 世紀の森構想について

平成の時代に入り、工場による公害は企業や地域の努力により解消される一方で、阪神・淡路大震災の影響や産業構造の変化による工場の移転など、地域活力の低下が新たな問題として出てきました。

このような背景から、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、「森と水と人が共生する環境創造型のまち」の実現に向けて、21 世紀 100 年に渡る長期の取組として、県民、企業、団体、行政等が共に進める「尼崎 21 世紀の森構想」が、平成 14 年 3 月に策定されました。



森構想の対象エリア

◆尼崎 21 世紀の森構想エリアで行われている環境に関する取り組みについて

アンケートやヒアリングを行った企業や団体などの取り組みについて以下に紹介します。

企業の取り組み

① 自然・生態環境に関する取り組み

魚のアラで肥料づくり



魚のあらを粉末化した肥料づくりと、魚釣りをを行う体験学習を子どもたちに提供しています。

ビオトープ・緑化



企業施設内でのビオトープの設置や緑化などにより、生き物が訪れています。

森づくり



企業敷地内などで苗木を育て、尼崎の森中央緑地で植樹や間伐等の活動を行っています。

② 企業活動を活かした取り組み

廃材 × しゃぼん玉



鉄の廃材をアップサイクルしたしゃぼん玉器と、廃食用油をアップサイクルしたしゃぼん玉液を使い、子どもたちに楽しく学べる環境学習イベントを行っています。

ジェルキャンドルづくり



ガラスびんでジェルキャンドルを作るイベントを行い、ガラスの3Rの特性などを子どもたちに伝えています。

③ SDGs 学習支援

SDGs の観点で事業内容を紹介



「あまがさき SDGs パートナー」の登録企業として、尼崎市内の中学校を対象に、SDGs に関する授業を実施しています。

〔蛍光灯処理の工場見学や、ガラスの出張授業などを行っている企業もあります。〕

〔尼崎市経済環境局経済部地域産業課で行われている取り組みの1つです。〕

④ エコやリサイクルに関する取り組み

CO2 削減

事業の中で排出している CO2 の削減に対してどのような取り組みを行っているのかを環境イベントなどで動画などを用いて伝えている。



廃材の活用

アーティストと共に、廃材である電車の部品のブレーキパッドを用いたベンチを制作している。



団体の取り組み

① 自然・生態環境に関する取り組み

水辺・水面での取り組み

北堀チャンネルベースなどでは、様々な団体や学校の方と運河の水質浄化や清掃活動を行っています。そのほか、運河で音楽やスポーツ、クルージングなどを楽しむイベントも行っています。



森での取り組み

尼崎の森中央緑地などでは、様々な団体が植樹や間伐体験、生き物観察会などのイベントなどを行っています。



巣箱を置いて養蜂を行い、ハチミツの採集もしています！



自然共生サイトに認定されています

自然共生サイトは、令和 4 年 12 月に開催された COP15 での国際目標「30by30（陸域と海域の 30% 以上を保全）」に基づき、環境省が令和 5 年度に創設した生物多様性に貢献する地域の認定制度です。



尼崎市の取り組み

尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課の主な取り組み

- ・ NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジが事務局を担い、子ども向けの環境学習などを行っています。
- ・ 市内の主に 4 年生を対象に、ゴミや温暖化、公害、運河など尼崎の自然についてのテーマに出前授業を行っています。